

ふる里 3・4月号 はまわき

第395号 令和8年3月1日発行

発行・編集

浜脇コミュニティ委員会

浜脇中学校 新制服スタート!

西宮市立浜脇中学校は、令和8年度の入学生から新しい制服に変わります。男女ともどちらも選択できます（写真参照）。

令和5年度から「校則等検討委員会」を立ち上げ、制服

の在り方について地域、保護者、生徒の意見を集約し、生徒会を中心に検討を重ね、実施に向けて取り組みを進めてきました。

そして昨年2月から、制服、私服を選んで登校できる自由



左右グレーのブレザー、紺を基調にしたリボンネクタイ、チェックのスカート
グレーのブレザー、紺を基調にしたネクタイ、薄いチェック柄のストラップス

服登校（セレクトロ）を実施しています。月・金曜日、学校行事（入学式や卒業式）や定期テスト、学校から指示のあった日は制服を着用するなどの決まりはありますが、TP〇に配慮した考える力を育む学びの一つとなっています。新しい制服の胸に付いているエンブレムは、生徒から募集しました。14人の応募があり、3年生のTさんが考案したデザインが採用されました。



オリジナルエンブレム（左）とボタン

◇祈り、安らぎ、永遠、そしてあなたらしさ…。心を大切にしたお墓作りを考えています◇

有限会社 中原石材工業所 代表取締役 谷本 俊和

事務所・工場 西宮市名次町12-27（満池谷墓地正面西約200m）

TEL 0798-73-5334 FAX 0798-70-5200

第69回 西宮市中学校連合体育大会

西宮市中学校連合体育大会（中連体）が昨年11月6日、阪神甲子園で行われました。

中連体は、市内の全市立中学校の生徒が一堂に会して行う体育大会で、全国的にも有名な阪神甲子園球場で実施されることが大きな特徴です。

当日は、市内19校の市立中学校に加え、西宮浜義務教育学校後期課程（7・9年生）、西宮支援学校中学校部の生徒約1万1000人が参加し、日頃の練習の成果を発揮しました。

演技では、1・7年生男子徒手操「心」、1・7年生女子リズム体操「すずかぜ」、2・8年生男子徒手操「礎」、2・8年生女子ダンス「Sun shine」、3・9年生男子組立体操「進取果敢ふるさと西宮 百年の歴史」といった学年ごとの特色あるプログラムが披露され、生徒たちの成長や団結力が会場に伝わりました。

また、リレーや1500m走では各校の代表生徒が全力で競い合い、スタンドは大きな声援に包まれました。

プログラムの最後に披露された3・9年生女子によるダンス「未来」

来」では、市制施行100周年を祝う人文字が描かれ、観客から盛大な拍手が送られました。

さらに校歌交歓では、浜脇中学校が今年も伝統の人文字を披露し、大きな拍手と歓声に包まれ、会場は感動に満ちた雰囲気になりました。

※西宮浜義務教育学校は小・中貫校です



3・9年生女子による市制施行100周年の人文字

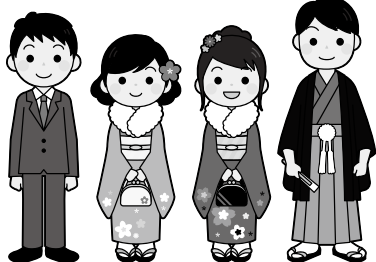


浜脇中学校伝統の人文字

祝 二十歳のつどい 2026.1.12

おめでとうございます！

平成17（2005）年4月2日～平成18（2006）年4月1日生まれの皆さんが、阪神甲子園球場で「二十歳のつどい」を迎えました。



冬晴れの1月12日、阪神甲子園球場で「二十歳のつどい」の式典が行われました。会場では、色とりどりの華やかな振り袖やおしゃれなスーツに身を包んだ出席者が、久しぶりの再会を喜んだり、記念撮影を楽しんでいました。

夕方からは、当時の生徒会役員が企画した浜脇中学校73期生の同窓会が開催され、大いに盛り上がりました。

* * *

これからの人生も、たくさんの良い出会いに恵まれ、いろいろな経験をし、日々新たな発見と成長がありますように！ 自分の可能性を信じて、一生懸命がんばってください！

二十歳の自覚を持って、夢ある明日へ羽ばたいてください。

はまわきびと 28

アメリカンフットボールのキッカーで3年間活躍！
啓明学院高校アメリカンフットボール部 SAINTS(セインツ)
3年 瀧 大悟さん



浜脇中学校から啓明学院高校に進学した瀧大悟さんは、小学1年生の時に浜脇ドリムスでサッカーを始めました。9年間、サッカー一筋でしたが、祖父の願いもあって高校からアメリカンフットボールを始めました。

啓明学院高校アメリカンフットボール部セインツは、昨年で創部20周年とまだ歴史は浅いですが、過去16回全国大会に出場している強豪校です。関西学院高等部ファイターズと常に上位争いを繰り広げています。

*兵庫県は優勝校と準優勝校の2校が全国大会に出場できます

昨年の第56回全国高等学校アメリカンフットボール選手権大会(秋季)兵庫県大会では、3年ぶり5度目の優勝を果たし、兵庫県代表として全国大会に出場しました。



優勝を決め、歓喜する選手たち

瀧さんはサッカーで磨いたキックの能力を買われ、キッカーとして1年生の秋季大会からスタメンで出場。キッカーは、プレーを始める時のキックオフ、タッチダウン後のトライフォーポイントを取る時、フィールドゴールで得点を取る時、試合の勝敗を決める重要な場面でボールを蹴る

ことが多く、常に冷静さと正確さが求められるプレッシャーのかかるポジションです。その実力が認められ、高校2年生時に出場できるニューイヤールにも兵庫選抜で出場しました。



ニューイヤールでプレイ

瀧さんにインタビューしました。

◎アメリカンフットボールを始めたきっかけは？

◎進路を決める時期に、関学ファイターズでキャプテン、コーチ、監督を務め、長年アメフトに関わっていた祖父が病気になるりました。どうしてもアメフトに携わってほしいという願いを聞き、少しでもそれが祖父の生きる力になるのであればと思ったことと、自分も新たなことにチャレンジしたいと思い始めたからです。

残念ながら、祖父は高校入学前に他界してしまい、アメフトをしている姿を見せられなかったことが心残りです。

◎競技の楽しいところ、つらいところはなんですか？

◎楽しいところは、各ポジションにスペシャリストがいて、タックル、走る、投げる、蹴る、頭脳など全てが融合されるところです。

個人的にはキッカーなので、キックを成功させてサイドラインに戻る時が一番気持ちいい！

つらいことは厳しい練習、大きなけがが絶えない、体をつくるための食事の制限がある、自由な時間がない、キッカーなので外せないプレッシャーがあるなど、たくさんあります。



タッチダウン後のキックで追加点を狙う



キックオフを蹴る瀧さん

◎全国大会に出場した時の気持ちは？

◎毎回みんなが思うことはただ一つ！ クリスマスボウルに出場すること！ そして全国制覇！

*クリスマスボウルは選手権大会の決勝戦のこと

◎今後の目標は？

◎また新たなことにチャレンジするか、進学先の関西学院大学アメリカンフットボール部ファイターズでアメフトを続けるか、まだ決めていません。



国際試合でアメリカの選手と